

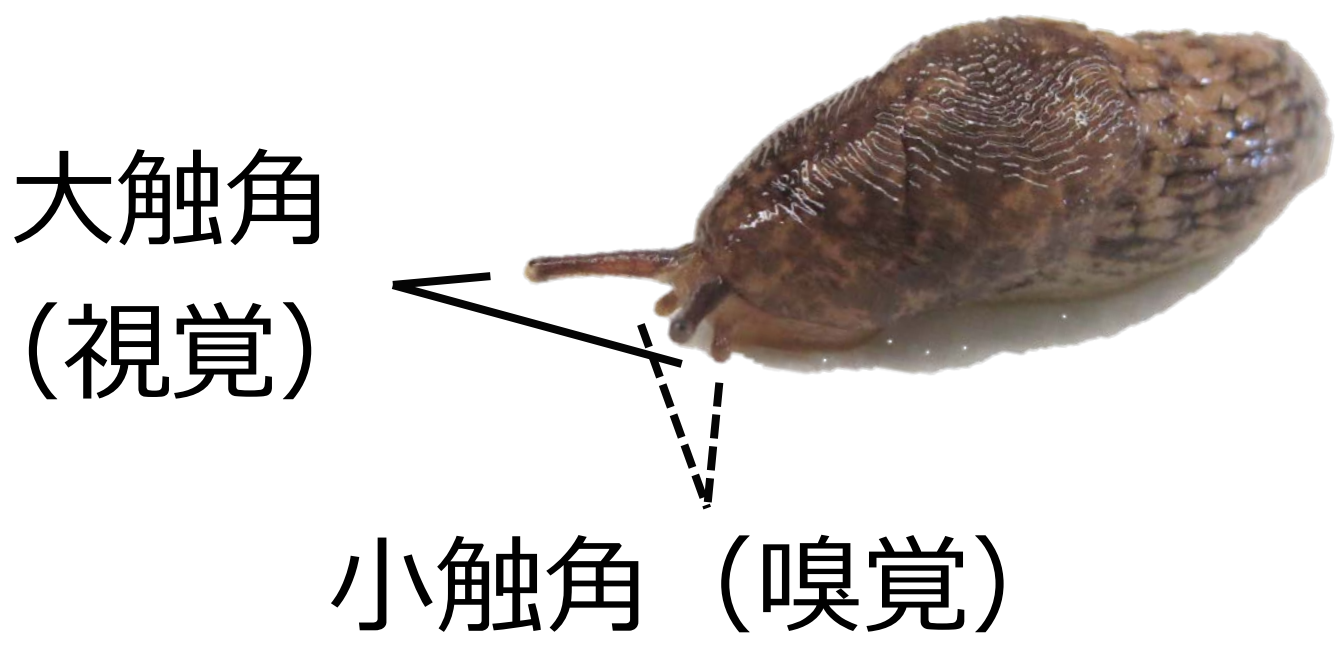
ナメクジの基礎知識

ナメクジは貝！

ナメクジは発達した殻をもつ陸貝（カタツムリ）が殻を無くす（退化）方向に進化した生き物です。殻の痕跡を体内に持つ種もいます。

ナメクジにも目がある

基本的に夜行性で、嗅覚が発達しています。肺で呼吸します。



ナメクジは雌雄同体

1匹のナメクジが雄と雌両方の器官をもっています。交尾で精子を交換し、産卵します。

チャコウラ
ナメクジの卵



日本で一般的に見られる ナメクジ4種

①ヤマナメクジ



約20cm

山林など特に自然の多い所に生息。

②ナメクジ



約15cm

民家の周り～自然の多い所に生息。

③チャコウラナメクジ



約5cm

民家の周りや公園など人工的な環境に生息。

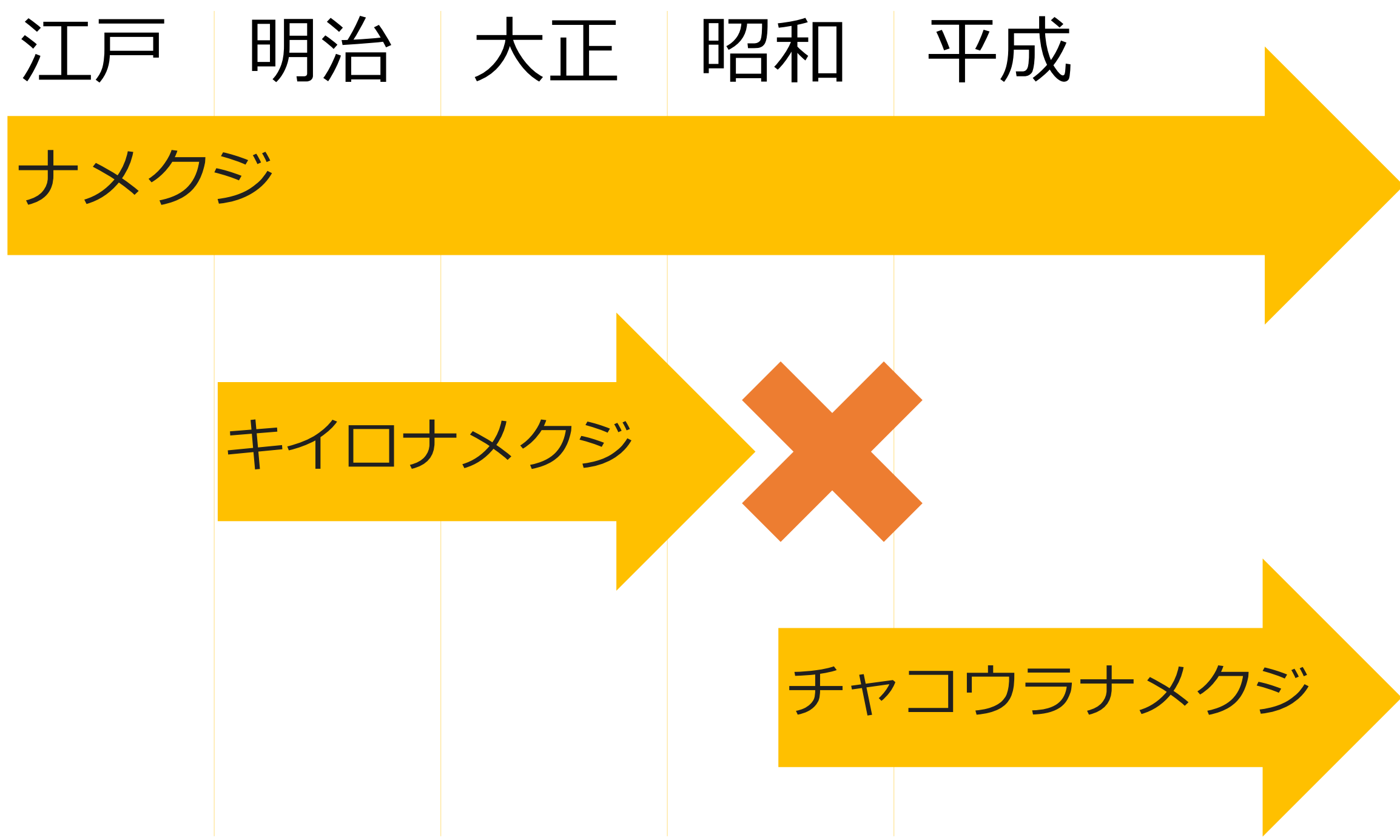
④ノハラナメクジ



約3cm

畑など人工的な環境に生息。

ナメクジの歴史



明治以前、日本では②ナメクジが一般的な種でした。しかし、明治の開港後キイロナメクジという外来種が繁栄しました。そして、第二次世界大戦後、③チャコウラナメクジが移入し、あっという間に日本中に分布を広げる一方、キイロナメクジは姿を消していきました。なぜこのような入れ替わりが起こったのか、その原因はまったく研究されていません。

新しい外来種

マダラコウラナメクジ



ヨーロッパ原産。
成長すると15cm以上に。
繁殖期は他の種に対して攻撃的になる。

2000年はじめ、茨城県で侵入確認。
将来マダラコウラナメクジが
日本で一般的なナメクジに？

現在の生活史や**分布**を明らかにしておく必要がある。
しかし分布を調べるのに
研究者一人では限界が…。



ナメクジ捜査網



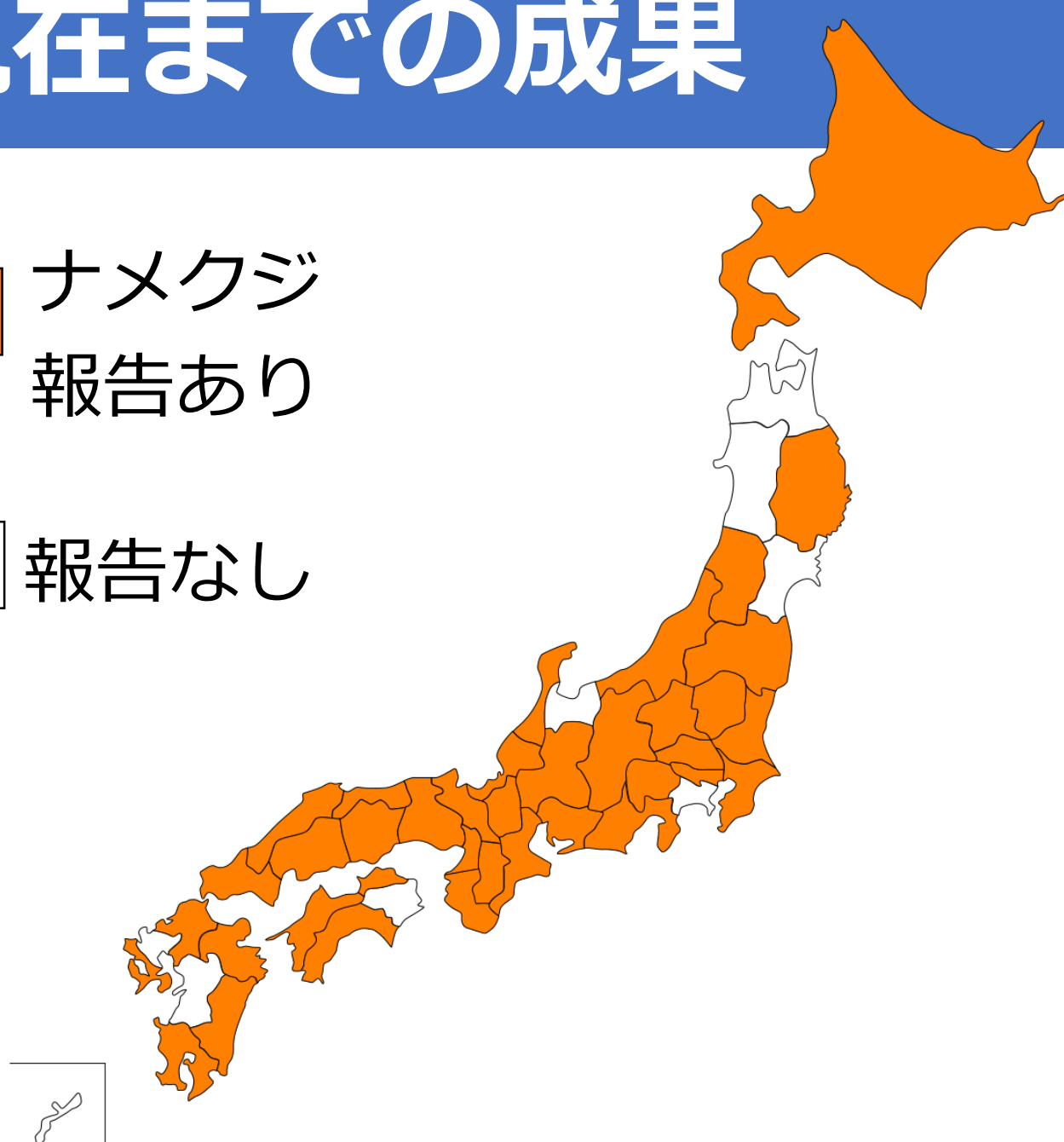
Twitter:
@Lmaximus7



現在までの成果

ナメクジ
報告あり

報告なし



2015年12月～2017年9月までに
約250件の報告が寄せられています。
他の研究者によりすでに生息している
ことが知られていた北海道・福島・
長野・茨城県（市町村）以外にも生息
していることが分かってきました。

新しい分布地の発見

Open Science オープンサイエンスなう

オープンサイエンスとは

インターネットを活用して研究データを公開したり、一般の人々に研究のプロセスに参加してもらうことで、サイエンスを発展させる動きのこと

「ナメクジ捜査網」以外にもある！市民参加型プロジェクト！！

低

マルハナバチ国勢調査



<http://meme.biology.tohoku.ac.jp/bumblebee/methods.html#gp>

マルハナバチの写真を撮影して投稿しよう



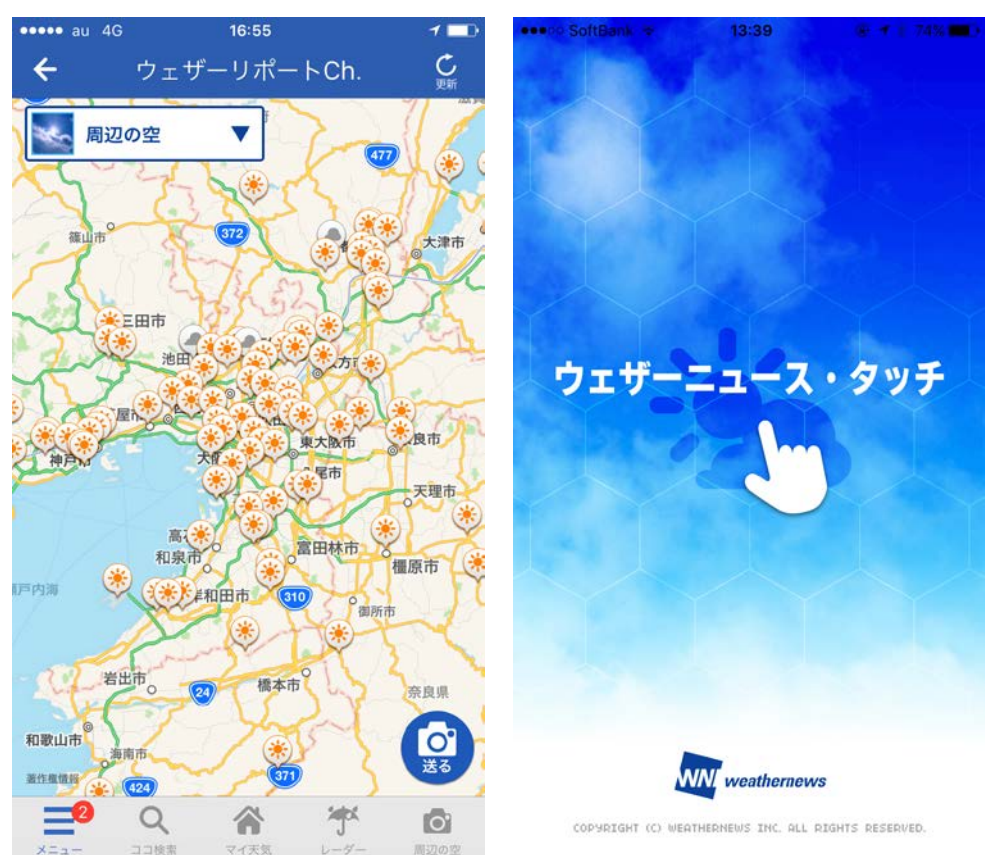
© 横山潤教授、山形大学

ウェザーニューズ



<http://weathernews.jp/>

現在の天気や雲の様子、自然現象、気温・湿度・気圧などを投稿しよう



中

雷雲プロジェクト



<https://thdr.info/>

雷雲からガンマ線が検出されるときの実際の波形データをインターネット上で分類しよう



オーロラ4Dプロジェクト



<https://aurora4d.jp/>

旅行先でオーロラの写真を撮影して投稿しよう



高

アサギマダラのマーキング調査

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/kanazawa/asagi/asagi.html>

アサギマダラのハネにマークをつけてリリースしよう

アサギマダラの会
© The Chestnut Tiger Research Group



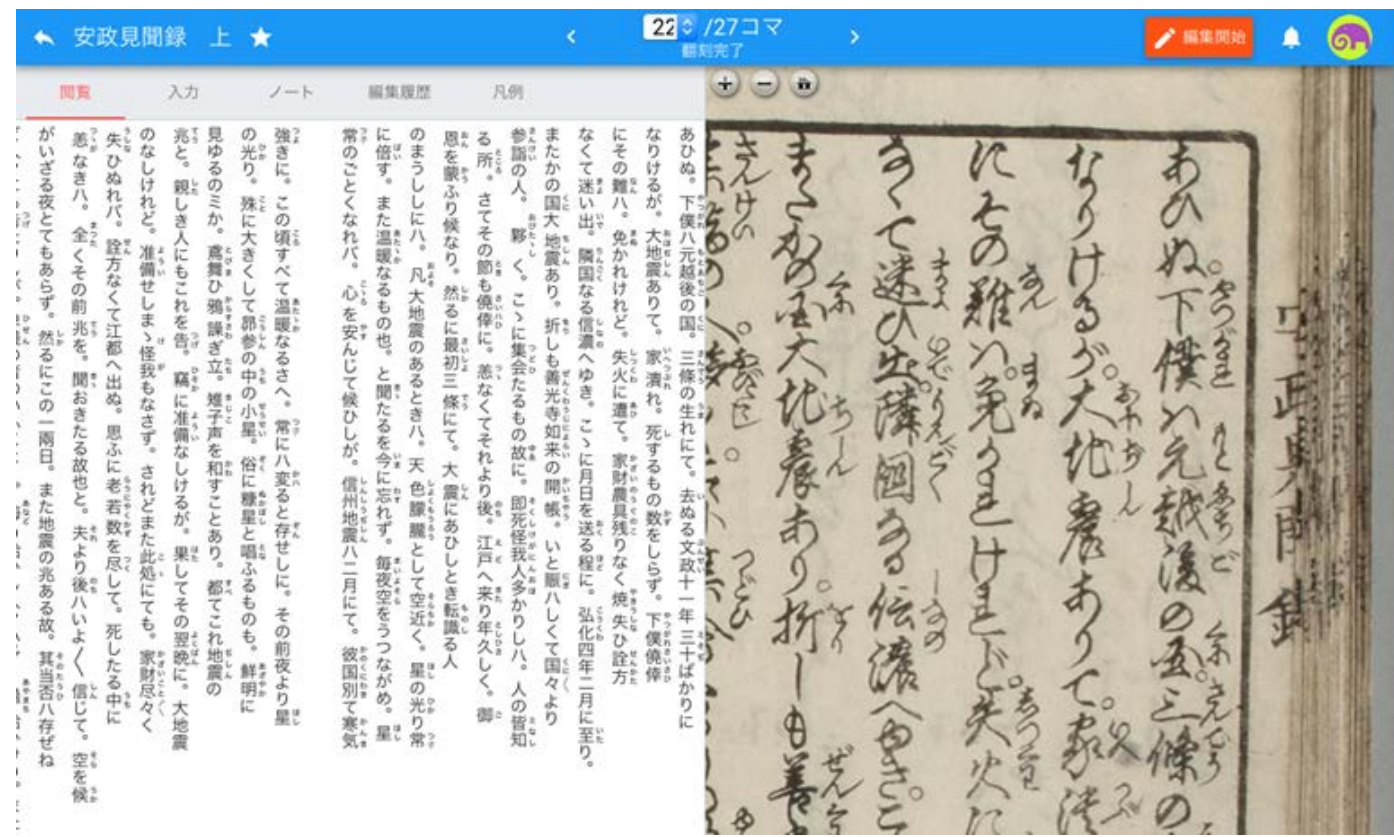
みんなで翻刻



<https://honkoku.org>

くずし字で書かれた史料をインターネット上で活字になおそう

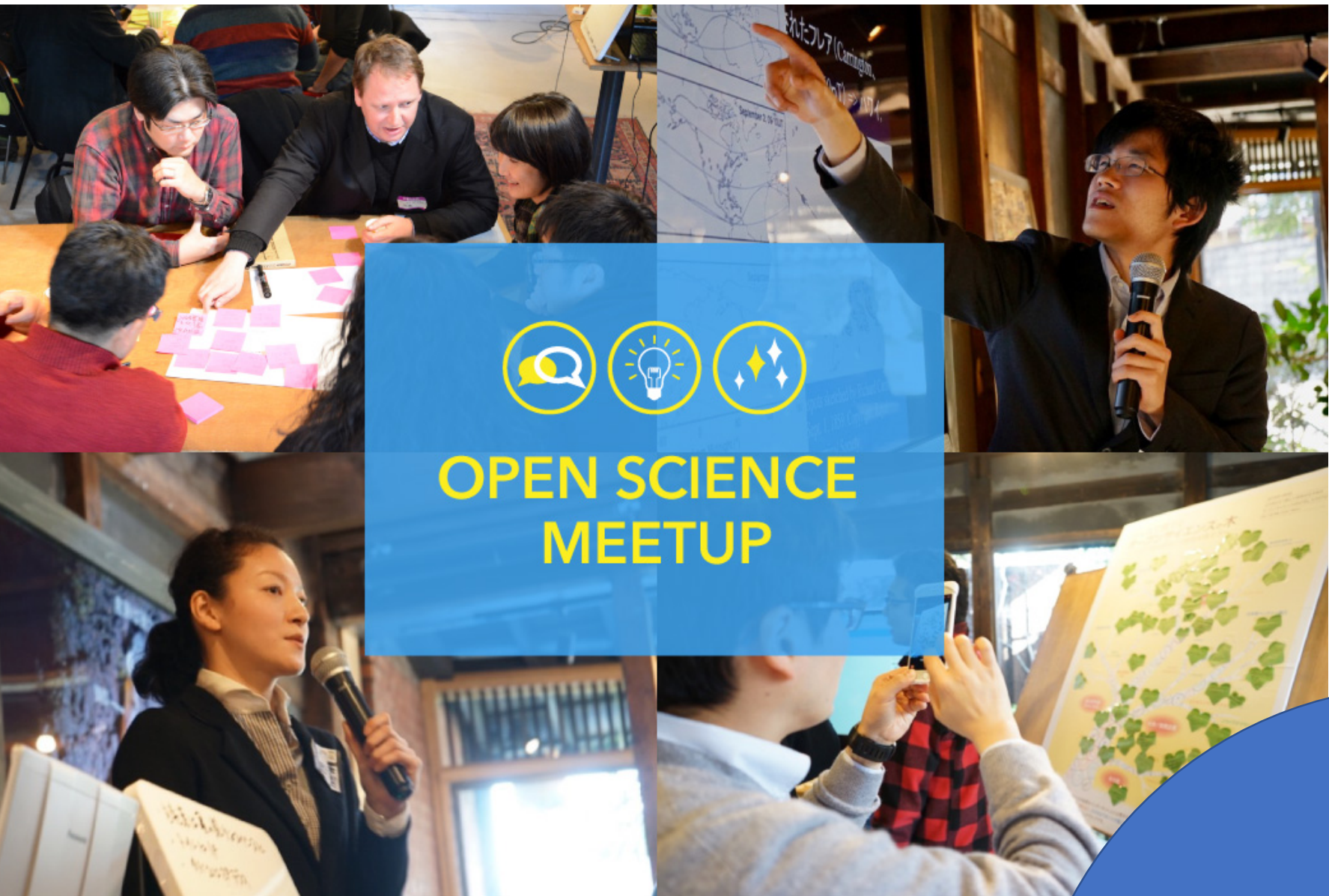
東京大学地震研究所蔵



専門性や必要になるスキル

KYOTOオープンサイエンスミートアップ

<http://kyoto-open.science/>



オープンサイエンスについて市民と情報を共有する場です。京都市内で月に1回開催。誰でも参加できます。

次回開催

10/7 (土)

ウェザーニューズのお話です

	スピーカー	テーマ
第1回	宇高 寛子（京都大学・理学研究科）	ナメクジ捜査網
第2回	早川 尚志（京都大学・文学研究科）	古典籍を用いたオーロラ記録探索
第3回	榎戸 輝揚（京都大学・宇宙物理学教室／白眉センター） 早川 尚志（京都大学・文学研究科）	オープンサイエンス的共同研究の立ち上げ
第4回	近藤 康久（総合地球環境学研究所）	オープンサイエンスが切り拓く社会課題解決型研究の未来β
第5回	青木 学聡（京都大学情報環境機構）	研究データマネジメント
第6回	阿部 康人（同志社大学社会学部）	福一原発事故以降の市民による放射線測定
第7回	森 誠之（株式会社GOCCO.）	メディアアートデバイス
第8回	橋本 雄太（京都大学・文学研究科）	みんなで翻刻（くずし字解読）
第9回	天野絵里子（京都大学 学術研究支援室）	オープンサイエンスって何？開かれ始めた研究の世界
第10回	田根佐和子（株式会社ロフトワーク）	プロジェクトにおける温度調整：ディレクター集団ロフトワークの目指すもの
第11回	後藤忠徳（京都大学大学院工学研究科）	地下探査装置のクラウドサイエンスは可能だろうか
第12回	是住久美子さん（京都府立図書館） 天野絵里子さん（京都大学学術研究支援室）	Wikipedia日本語版の「オープンサイエンス」をみんなで編集してみよう！